

第5回ESDパワーアップ交流会 参加報告書

奈良市立平城西小学校
教頭 西口 美佐子

- 1 日時 平成29年1月28日(土)
8:50~11:30 八名川まつり
13:30~14:50 実践交流会
15:00~16:30 講演
金沢学院大学教授 多田 孝志 氏



- 2 場所 江東区立八名川小学校 東京都江東区新大橋 3-1-15

3 内容

(1) 八名川まつり

各学年でテーマを決め、その中で自分の課題について調べ学習を行い、発表していた。どの子どもたちも自分たちで調べたことを相手に伝えるために工夫を凝らしており、クイズや実物の提示、体験活動などを取り入れたものが多くみられた。発表後の質疑応答などの時間がなかったため、終わった後に個人的にいくつか質問したが、どの児童もはきはきと受け答えできていた。自分の調べ学習に自信をもっている様子が感じられた。



特に、6年生の「未来に羽ばたけ!~小学校卒業研究~」で、6年間の集大成として、一人一人が自分の将来の「仕事」について考えて調べていたことは、これからの生き方にも大きな影響を与えるものと感じた。キャリア教育としても大変有効であると考えた。

(2) 実践交流会

A分科会に参加し、奈良市立都跡小学校の山方先生、愛知県あま市立甚目寺小学校の村瀬先生、江東区立八名川小学校の2・5年生の発表を聞いた。

山方先生は、広島お好み焼きから戦後の広島の様子を探るという実践で、教材研究の深さが感じ取れた。身の回りの物を価値ある学習材に高めていくことが大切である。また、そのために教師は常にアンテナを張っておくことが重要であることが共通認識できた。

村瀬先生は、ESDカレンダーを各学年で作成し、カリキュラムマネジメントをしながら学習を進めていくことの重要性を示してくださった。

八名川小学校の先生方は、児童一人一人が自分の課題をもって探求していくことの大切さを具体的に発表された。同じ活動でも、教師が児童に課題をもたせるような投げかけや声掛けをすることが、活動を促進するためには重要であることを改めて感じた。



(3) 講演会

多田先生は、新しい学習指導要領では「深い学び」が一番重要で、子どもの気付きを話し合いでさらに新しいものにすることが大切であるということ、昨今、何のための教育かということが欠落しており、人間性を重視した目的をもつことが重要性とお話しされた。さらに、グローバル化が叫ばれる中で、伝統文化や言語が消滅しており、カウンターグローバル化の意識をもつことも必要であるとも話された。

多田先生の話は、現場を大切に、教育実践をより良いものにするにはどうすれば良いかという思いがにじみ出ている内容で、大変共感できた。また、物事を様々な角度から細やかに見ることの大切さをご教授いただいた。大変勉強になった。今後生かしていきたい。